

たんあろ

発行日

第 90 号

61年8月号

編集発行

釧路地方腎友会
釧路市新富町一番七号
林田クリニック内



楽して田舎で夏を過ごす



※※ 目 次 ※※

- P1 シャント... 10周年行事に対するお願い
- P2 釧路腎友会「総会」終る
- P3 全道一斉街頭キャンペーン
地区連「患者集会」終る
- P4 ケースワーカー 全道大会 道庁連事務局長来釧
- P5 腎バンク主催 腎臓病講演会 開催される
- P6 第4回西別岳釧路腎友会登山レポート
- P7 闘病シリーズ「透析と私」釧路赤十字病院 佐藤栄子
- P8 "歩く" 林田クリニック 渡辺喜久
- P9 僕のハワイ旅行 厚岸町立病院 波佐谷純考
- P10 病院だより 根室市立病院 細谷弘子・林田クリニック
- P11 ※ クロスワード・パズル ※
- P12 『私が信じる一村一品』シリーズ
- P13 御冥福をお祈りします ・倉野利夫さん ・横野正裕さん
- P14 会員の動向



10周年行事に対するお願い

鋼腎会 会長 上田 弘

鋼腎会の10周年記念行事は、それぞれの担当者によって10月26日を目標にして、作業が進められております。

『10周年記念誌』については、昨年度から構成メンバーを決定し、内容の検討・原稿の作成・原稿の依頼・写真の撮影・写真の収集などと作業が進み、現在では原稿の最終的なまとめを行っており、原稿・写真の不足はないかを点検し、製本するための割付けを行っている段階で、ほぼ記念誌の内容は決定されました。

この記念誌の発行にあたっては、日赤病院の『長岡久雄』さんが自分の職業を活して、構成・割付け・カットなど、全て一人で作業をして下さいました。長岡さんも、皆さんに喜ばれる記念誌にしたいという事で張切っておりますので、是非期待をしていただきたいものです。また、長岡さんには一人で本当に大変であろうと思いますが、もう少しです。最後まで宜しくお願いすると共に、感謝をする次第であります。

この10周年記念行事を実施するにあたり、資金的に不足を生じる状況にあるため、記念誌に『協賛広告』を出していただき、この10周年記念行事に対する経費に充当するよう取組んできました。

その結果、市立病院の伊藤先生はじめ、顧問の伊藤・高橋議員、各病院の会員皆様方など、多くの方々に心良く協力していただきました。協力下さいました皆様には本当にありがとうございました。

同時に会員が率先して協力する事にして取

取組んできました『協賛寄付』については、それぞれのグループの役員が『奉賀帳』を持参し、各会員に回覧して『会員・親戚』などに協力していただくよう取組みましたところ、現在までに多くの会員・家族の方々に協力をいたしております。協力下さいました方々には本当にありがとうございました。

『協賛広告』『協賛寄付』に協力下さいました方々については、その好意を記すため、記念誌にその名を記載する事にし、記念式典終了後にその感謝の礼状等を差上げる予定をしております。

『鋼腎会満10周年記念式典』は、10月26日に、鋼路市の旭町にある『総合福祉センター』で開催する事が決定されております。

この式典の実施にあたり、『腎移植の映画』と『一般的な講演』として『鋼路教育大学の山田先生』に『シルクロード関係についてのお話』をしていただくよう計画中であります。

『記念誌の発行』また『記念講演会・式典の実施』など、満10周年に関する業務が、今後、取組まれます。それぞれ責任者を決め、役員一丸となってその成功に全力を傾けてまいります。会員皆様からの10周年に対するアイデアとか考え方をどしどし提案して下さいよう願いたします。

シャント



鋼腎会『総会』終る

去る6月1日、国鉄『ぬさまい荘』において、今年度の総会を札幌から道腎協の中村事務局長、高橋顧問、並びに厚岸・根室の会員も来鋼して開催されました。

総会では、60年度の活動と決算を報告し、会計が異常のない事を監査報告を受ました。その後、61年度の活動方針並びに予算案と、特に『満10周年記念行事』に関する会計を『特別会計』として経理する事を審議して承認を頂き、先般、会員の皆さんにお渡した議案書の通り承認されました。

道腎協事務局長の挨拶の中で、最近における透析治療が非常に厳しい状況におかれている現状を、他方面の観点から話され、一人の力ではかないものであるが、同じ境遇の者が一致団結する事によって、『暗いトンネル』からぬけ出せる事を訴えておりました。

これらの話しを聞いていた参加されていた会員の皆さんは、ここまで厳しい状況とは思わなかった。皆んなと力を合せ、現在の恵まれた福祉制度を維持していく事を痛感しておりました。

又、顧問の高橋市議は、皆さんの努力で腎友会を継続して運営してきた鋼腎会が、今年で満10周年を迎える事になり、私も会結成当時から会員はもとより、腎友会に対する指導・助言、そして要望事項の実現に取り組んで来ましたので、皆さんと共にこの『満10周年』を記念したい気持で一杯であります。なんとしても『満10周年記念行事』を成功させるよう、皆さんと共に頑張りましょう。なお、鋼



路市からの腎友会に対する運営費と、鋼路市内透析患者さんに対する通院交通費の助成が61年度より増額される事を報告されておりました。

総会の質疑の中では、60年度の一泊での新年会の開催方法はどの様なものか疑問とする意見と、年賀状の取扱方法について、細部にわたって下部まで浸透していないとの意見が出され、61年度にはこれらの事を反省して、会員の皆さんの御意見を聞きながら、皆さんが取扱やすいよう改善をはかっていきたい事を約束しました。

6月1日に開催された鋼路地方腎友会の総会にあたり、下記の通り祝電を頂きましたので御報告致します。

道議会議員 伊藤 武一

腎友会の総会をお祝い申し上げます。新年度の活動目標を実現させるため私も全力を尽くしてまいります。会員各位の御健勝を心よりお祈り致します！

北海道難病連

総会開催にあたり連帯の挨拶を贈ります。鋼路腎友会の皆様の着実な活動と、努力で10周年を迎えられた事に敬意を表します。共に豊かな医療と福祉を目指し頑張りましょう！

北海道難病連鋼路支部

事務局 清水 信房

結成10年、皆様の努力に深い敬意を表します。今後、益々の御活躍をお願いいたし、健康に留意される事を望み、挨拶にかえさせていただきます！

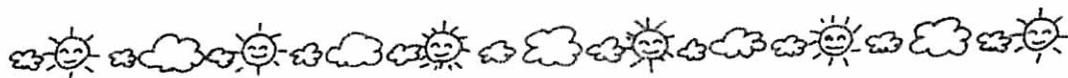
全道一斉街頭キャンペーン

久しぶりに晴れわたった6月15日、腎提供登録の拡大と腎移植の普及啓蒙を目的とした全道一斉の街頭キャンペーンを、イトーヨーカドー横に於て、多くの会員が参加して実施されました。

今回は、道腎協で一括用意した腎提供登録のお願い文の書いてあるチラシ・ティッシュ・フウセンを配布し、また、今回始めて『尿検査紙』を用意して、必要な方に無料で配布しました。この尿検査紙は、家庭でも充分対応でき、排尿の時に検査紙の一部分を浸すだけでよく、検査紙の色の変化によって腎機能の異常を判断でき、速く簡単である事から、配布を受けた市民からは大変喜ばれておりました。

また、若い方の腎提供登録希望者もあり、ドナーカードをお渡し、記入をしてもらいました。今後、講演会などには、これらの方々にも案内を差上げ、腎移植に対する知識の取得と啓蒙に協力を要請したいと思います。

今年の10月には『国』が音頭をとって『腎提供促進強調月間』として決め、全国的規模で腎提供の促進を進めますので、その折には当釧路地方でも歩調を合せて諸行事に協力しますので、会員皆様の協力を宜しく願います。



地区連『患者集会』終る

花見の時期としては一寸時期遅れでしたが、今年度初めての釧路地区難病連の花見を兼ねた『患者集会』を6月15日に開催されました。

この患者集会に、当釧路地方腎友会からも、全道一斉街頭キャンペーンに参加された会員、約10名が参加して下さり、会場である春採公園で他の病気の方々との交流を深めてきました。

日頃は、同じ病気の人達としか話し合いをしていない関係で、難病連の集会に参加すると、それぞれの病気をもっている方々の病気の状態とか、日常生活での苦勞が痛切に感じられ、その多くの方に比べれば、透析患者は手足も自由であり、外見上は障害がないというだけでも恵まれている病気であるように思えます。

当日、全国的に運動を進めていて、今年は釧路で実施される事になっている『ひまわり号』の責任者の方が参加しており、是非『ひまわり号』を成功させたいし、その為にも皆さんの協力を宜しく願うするゆえの挨拶がありました。

また、来年度は北海道難病連の『全道集会』が釧路で開催される事になっており、この集会には現在の予想では約800名の参加者が見込まれ、会場・旅館そして集会の準備などで忙しい年になりそうです。



ケースワーカー 全道大会

患者さんが福祉関係でお世話になっているケースワーカーの全道大会が、6月29日、釧路市民文化会館で開催され、釧路腎会からもその大会に参加させていただきました。

参加されました方々には、色々と行事が重なる時期でもあり、心良く参加下さり大変御苦労さまでした。

当日は、NHKの医療関係解説委員である『行天良雄氏』が講演され、現在NHKで放映している連続ドラマ『いのち』について、その内容の組立方とか構成についての苦労など、生きる事に対する倫理感などを話され、テレビのドラマも非常に内容のあるものがある事を知らされました。



道難連 『伊藤事務局長』 来釧

来年度、釧路で北海道難病連の『全道集会』が開催される事となり、その会場予約、関係部署への挨拶のため、財団法人・北海道難病連の『伊藤建男事務局長』と『山崎事務局長』が7月4日に来釧されました。この行動には地区連支部長（上田）もそれに同行して、普段、顔を出した事のない役所とか施設に挨拶にまわり、全道集会に向けての用務を遂行されました。

開催現地である釧路の私共は、全道集会の『全体集会』は『市民文化開館』で実施する事を推奨したのですが、市民文化開館は難病患者の集会を行なうにしてはあまりにも立派すぎ、部屋の大きさも大ホールでは大きすぎ、小ホールでは収容出来ないという事で、結局『公民館』（600名収容）を使用する事になりました。

行天先生は、さすが『日本国営テレビ』……？ の解説委員だけあって、話しの筋道を系統づけをして話し、自分の持ち時間を一分も余さず、またオーバーもしないで、時間丁度に終り、時間に関しては『さすが』……と感じました。

二日目には、『パネラー』による訴えを行いまして、釧路の難病連から事務局の『清水』さんが発言し、透析患者の『身体障害等級認定』についての矛盾とか、ケースワーカーの不足等について訴えておりました。

多様化する医療・福祉行政のなかで、私共患者にとってはケースワーカーの存在がこれから重要視されます。各病院にケースワーカーが配置されればよいのですが、現状ではそこ迄には到達されませんので、その分患者会が何とか患者さんが色々な面で不利益にならないよう頑張らなければならないと思います。

宿泊する旅館についても、宿泊予定者が約600名になる関係で、釧路で最大の宿泊施設でも250名が限度であり、600名を収容するには全館利用しても4～5軒のホテルを押さなければならず、旅館毎の料金等の調整をする事は大変な事なので、宿泊については市の『観光協会』に一括してお願いする事にいたしました。

7月6日には、道東6支部（厚岸浜中・根室・阿寒・標茶弟子屈・奥根室・釧路）の役員会が行なわれ、全道集会の大枠についての概要を確認しあい、道東6支部全体でこの全道集会を成功させる事を誓い合いました。

この集会に『ボランティア』の要請が必要不可欠であり、腎友会のなかでボランティアに出ただけの方を御存知の方がおりましたなら、是非お知らせ下さいます様お願い致します。

腎バンク主催 腎臓病講演会 開催される

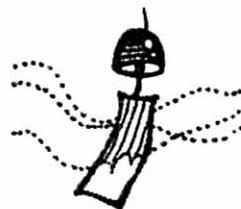
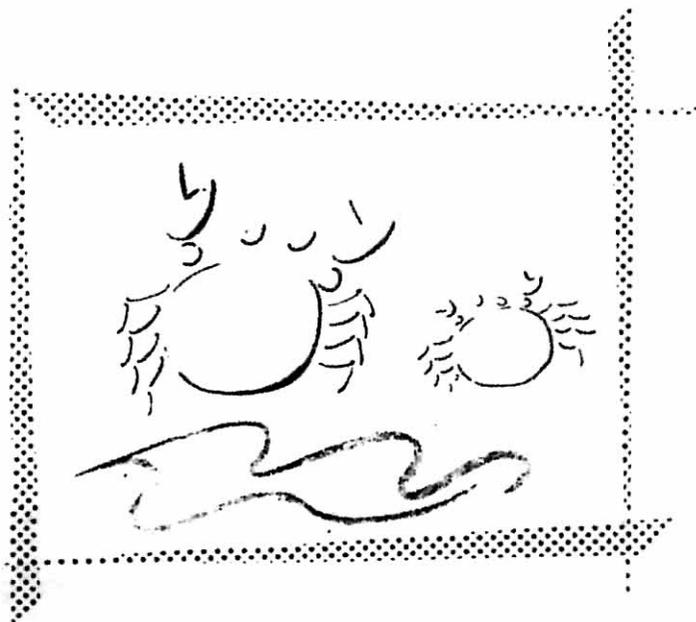
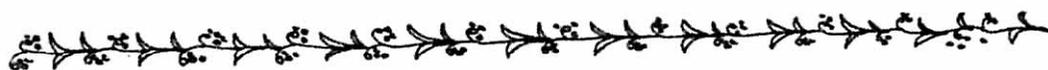
北海道腎バンク主催による『腎臓病に関する講演会』が、7月26日オリエンタルホテルにて開催されました。

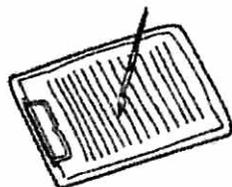
今回は、北海道腎バンクが北大の先生、三の方に要請し、『学校検尿の経験から、小における腎臓病に関する講演』と、『我国における腎移植の現状』、また、腎移植の推進のため腎提供の促進を進めなければならない関係で、『腎提供の促進を協力要請する講演』となりました。

会場には、患者・家族をはじめ、医療従事者・看護学生など多数この講演を聞きに来られ、予定していた椅子が不足するほどの盛況であり、釧路でも腎臓病に対する関心が深まってきた傾向にあるのではないかと、関係者を喜ばしております。

また、道内の腎移植センター構想は、札幌市立病院を『センター病院』と位置付けし、道内に三個所の『サブセンター病院』を指定するという事で、その一個所として『釧路市立病院』が指定される予定であることから、釧路での腎提供の拡大と腎移植思想の啓蒙が重要であるという観点から、今回の講演会の開催となったものであります。

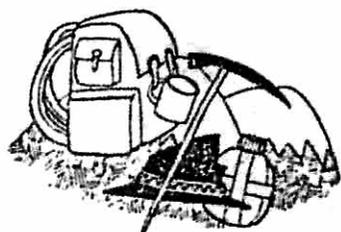
釧路腎会としては、この講演会を10周年記念式典の折に実施されるものと考えておりましたが、打ち合わせの悪さで時期が早まった関係から、腎臓病の講演会を変更し、記念式典の時には、釧路ではまだ実施した事のない『腎移植に関する映画』を上映する事を考えております。





第 4 回 西 別 岳

釧路会登山レポート



7月27日(日), 天気晴れ

今年は 夏休み中ということもあって 参加者が30名ほどと少なかったのですが、天候にも恵まれ 有意義な登山となりました。

朝8時に林田を出発、途中 協立病院で参加者を乗せ一路西別岳へ向った。

10:10分に登山口へ到着。バスから一步 地面に降りた瞬間、ムツとするような暑さを感じました。広場で体を十分に ほぐしてから グループごとに出発する。その時10:20分。Aグループはリーダーの金井くんが先頭になってスイスイ登っていきました。さすが元気な人たちのグループだけに足の運びも軽やかでした。Bグループは余裕があったのか、なかったのか 比較的ゆっくりと登り始めました。そのため、いつの間にかCグループの人たちといっしょになってしまいました。

とにかく 登り始めの1kmは 急斜面のうえに、30度を越えようかという暑さのために すっかり疲れてしまいました。休んでは進み、進んでは休むといったありさまでした。この難所を抜け出したのが11:40分、実に80分もかかってしまいました。それでも この難所を乗り越えると 少しは元気が回復して 30分ほどで8合目に着きました。Aグループの人たちは この8合目に荷物を置いて 頂上まで行ってきたところでした。暑さで体力を使い果してしまったBCグループの人たちは この8合目で満足し 弁当をひろげました。今回は山岳会の人たちが ジンギスカンの用意をしてくれ、みんなたっぷり食べることができました。重いなべとか ストープ、肉などを かついで登ってくれたのでした。山の上で食べたジンギスカンの味 けっして忘れなれないと思います。また、この8合目から すぐ目の前には摩周岳、摩周湖が見え 何ともいえない景観でした。おいしい弁当と肉、冷たい水を飲み お腹がいっぱいになり、景色にうっとりとしているうち あっという間に1時間が過ぎてしまいました。8合目の頂で記念写真をとってから下山を開始しました。

子どもたちは あっという間に下りていきましたが 私たちはヒザが笑ってなかなか下りられず 1時間30分もかかってしまいました。バスにたどりついた時には エネルギーは ほとんどなくなっていました。

そして 弟子屈温泉子宝ホテルで90分ほど休憩し、汗とほこりを洗い流して、少々元気をとりもどして帰釧しました。参加した皆さん ほんとうにお疲れさまでした。山岳会の皆さんありがとうございました。

『透析と私』

釧路赤十字病院 佐藤 栄子

私は腎臓病と付き合って二十余年になります。慢性となってからも、ずっと別海病院へ入退院を繰返し、一時は治ったかに見えたが、定期的に二週間に一回づつ通院し、時には風邪など引いて、即病院へ行った事も何回かありました。

行く度に尿の検査をするのですが、タンパクが(-)になる事はありませんでした。

私もこの病気で悩むこと、度々でした。若いうちから病いと闘いながら、休む暇もなく野作業に勤んで来ました。その頃は子供も小さかったし、少し位具合が悪くても外へ出て働かなければならず、今考えますと無理がかかっていたのです。

途中で何度か職を変えようかと考えた時期もありましたが、自分一人の考えでは思う様にいかず、つつい無理が重なり病気の方は一進一退の症状でした。

毎度、別海病院へ行く度今日は(+2)、あるいは(+3)と『血圧が高い、注射しますね』とよく言われ、本当に何時になったら直るのか、いつも不安がつきまわっていました。

人が、良いと言われた薬も何度飲んだ事か、でも生活がかかっているのが長続きはしませんでした。

病気が進行するにつれ、尿の出も悪くなり、顔・手・足が腫れ、食事も出来ない程に悪くなりました。そんな時だけは安静にしておりましたけれど、おさまれば又、いつもの様に仕事をしなければなりません。

季節の変りめには必ずと言っていい程、具

合悪くなるのです。別海病院の今村先生に『これは一生だね、透析するより他にないよ』と言われた時は、大変ショックでした。

別海の保健婦さんや栄養士さんとは随分相談もしました。

そして今村先生に紹介状を書いてもらい、釧路の日赤病院へ来ました。すぐ検査して入院し、59年9月14日より透析を始め、二年があっという間に過ぎました。

たしかに私にとっては透析は辛いです。今は週二回ですが、一年一か月の入院後、退院したのですが食事のバランスと体重が増えて、今回の再入院となってしまいました。

これからも一日一日大切に、せめて息子に嫁をもらうまで元気で頑張りたいと思います。元気に外来でくる人達を見て、私も常にあの様になりたい、と思います。

今はベット生活ですが、水分・塩分・体重など気をつけて、一日も早く退院したいと思います。

私にはコップ一杯の水もままならないのです。自由に飲み、食べた時代が懐かしく思い出されます。



” 歩 く ”

林田クリニック 渡 辺 喜 久

朝、目がさめると一番先に外の天気が気になる。晴ているとルンルン。雨が降っていると”ガックリ……”。

私は腰痛症なので透析のない日は谷藤病院に『牽引』に行く。行く時は弟が仕事に行く車に乗せてもらう。帰りは歩く事にしている(40分~50分位)。

この歩いて帰って来るのが楽しい。毎日同じ所を歩かず、チョロチョロと曲がって歩く。他人の家の花畑を見るのが大好きだ……。

きれいに手入れされている庭(しばし見とれて立つている)、草の中に花がうかんでいる様な庭、花が濡れそうで可哀想。私が来て草を取ってあげたいなぁと思う(余計な御世話ですよね……)。

私が一番気にいって歩く所『市民の森』、ドブ川はちょっと気にいらぬが……、山育ちの『あっし』にゃ、木の草花の臭いがなんともいえなく大好きさ……。

春のタンポポが真黄色に咲いた時は綺麗だったなぁ。次は、桜咲いた時は花だけ少々(枝は折ってませんよ……)失礼して家に持って帰り、皿に浮かして娘と『二人花見』と洒落込む。『一杯』飲めないのが残念。ビールをグーと美味しそうだろうなぁ……。

また、森には色々の小鳥達も集り、あちらこちらから色々の鳴声がする。

春はスズメやカラスも『アベック』だ。私はスズメやカラスにも負てるな……、と独り苦笑しながら歩く。あっ、向こうから歩いて来るのは『太郎』だ。『太郎』『太郎』、私が呼ぶと私に気がつきニコニコ笑いながら太

郎は走ってくる。『太郎おはよう』返事の变りに私に身体を擦寄せてくる可愛いやつ。黒い長目の毛に耳は垂れ、目の上に茶色の丸い点がある。俗に『四つ目』と言われる『ワン公』だ。太郎も毎日森を散歩している市民の一人……?だ。

この様に色々と気かけながら歩いている内に森が終ると我家が大分近くなる。また、他の庭をのぞき見しながら、暑い時は家の日陰をチョロチョロ探しながら歩く。

我家の近くにも三匹程犬がいる。一匹づつに声をかける。喜んで飛上がってくる。短い鎖に繋がれて可哀想。散歩等させて貰っているのかなぁ……。今度は犬を散歩させてあげたいなぁと思う。

『犬も歩けば棒にあたる』、私が歩けば花にあたる、壁からはみ出しているハマナスの花、二つ失礼して、また皿に浮かして玄関に置く。いい香りが玄関いっぱい広がる。とても良い気分だ。一人で満足している。

今年は天気が悪くてあまり暑い日にならないが、暑い時は途中の店でアイスなど買い、食べながら歩く。少々行儀が悪いがこれがまた美味しく楽しい……。午前中なのであまり人通りもないので安心して食べ歩きが出来ますよ。

皆様も車ばかり乗ってないでアイスなどを食べ歩いてみてはいかがですか……?。

美味しくて、子供に返った様な気分です。楽しいですよ……。



僕のハワイ旅行

厚岸町立病院 波佐谷 純 考

拝啓、六月四日の朝が来ました。

待ちに待ったハワイ旅行の日です。朝7時43分発の特急で札幌千歳空港駅につき、午後3時10分発の成田行き飛行機に乗り、午後5時頃、『成田国際空港』に到着、4F北ウィングの日本航空団体カウンターで集合、ハワイツアーの係とあい、パスポートをもらい、添乗員の案内を受けて、日本航空072便でホノルル空港めざし機上の人となりました。

途中、日付変更線を通り、ホノルル空港に着いたのは4日目の朝8時50分、入国手続をする為、係に行った所、沢山の日本人観光客がいて大混雑、本当に驚きました。

約一時間で出口にたどりつきましたら『アロハ』と声をかけられ、やっと『ハワイ』に着いた気分。空港からのバスの中には大阪から来た団体があり、合流して『パシフィック・ビーチ・ホテル』に到着。

添乗員からルーム・キーをもらい16階の部屋にたどり着きます。

二日目は『ホノルル市内観光めぐり』に出掛けました。専用バスで最初に『ヌアヌ』、ここは風の当る所として有名で、下から吹き上げると風が30~50m位の風速が出来るといっています。

続いて、市内を一望できる『パンチホールの丘』に行き、有名な『ダイヤモンド・ヘッド』に至る弓形の海岸線をととても美しく眺める事が出来、記念撮影。次に『イオラニ宮殿』等を見て最後に免税店等に寄り、ホテルに着きました。

僕は初めてのハワイでの透析をする為『セ

ント・フランシス病院』に行きました。部屋を見て、まず体重計は天秤式の秤に驚き、ベットはイス式で透析中は寝ている内に冷房がきいて寒い位。『寒い』と言うと看護婦が来て毛布をかけてくれました。

添乗員から夕飯をもらって透析を続け、熱いスープを飲み、体を暖めながらの透析でした。10時に透析終了しバスでホテルに帰りました。

3日目は自由行動、僕は『ハワイ8島めぐり遊覧飛行』に行きました。

まづ、マウイ島、ここは島全体が『砂糖キビ畑』でした。マタカウアイ島のワイルア川では観光船に乗りハワイアンを歌っているうちに桟橋到着、歩いて有名な『シダの洞窟』を見物に、洞窟のまわりはシダに覆われ、その中で結婚式をあげるそうです。

その他の島は空から見て空港へ到着です。

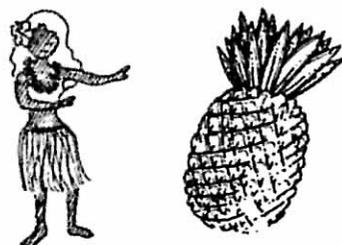
4日目は最後の自由行動で、この日『ハワイの祭典カーニバル』が始まりました。大体2時間位で終り、僕は最後の透析を夜6時~11時迄受け、ホテルにて明日のスケジュールを添乗員から説明をしてもらおう。

翌朝、午前5時に『モーニング・コール』で眠りからさめ、帰りの出発段取りをし、ホノルル発、成田行の日本航空機で無事、日本に帰りました。

飛行機が成田に着陸した時は、ホッと安心をし、楽しい旅行の出来事が快い気持ちに僕をしてくれました。

本当に楽しくステキな旅行でした……。

敬 具



釧路腎友会の皆さん、元気ですか…。こちら、根室の細谷です。今日は、皆さんにこちらの透析の様子をお知らせします。

3年前、六台のベットから始め、今では11台にもなりました。患者も、私が根室に移った当時四人だったのが、今では20人と随分増えたものです。

テクニシャン2人、看護婦5人のスタッフに囲まれて、毎日過しています。

朝8時過ぎ、一人、二人と通院して来ます。根室では、朝来た順番に針刺しをしてもらいます。9時迄には全員針刺しが終り、テンピを見たり、おしゃべりしたりです。10時になるとおやつの時間、二週間分のメニューを渡されますので、前もってわかります。食事もメン類の時はオニギリを持って行きます。

さて、話は体重の事になりますが、根室では一日で3%、二日で4%という事で、話合いをしました。

最初は、一日でも二日でも3%という事でしたが、私達、患者にとっては、二日目の3%はちょっと厳しく、随分ともめました。結果、二日で4%という事でまとまり、まあまあ皆守ってきています。透析中は、気分の悪くなる人は殆どいません。

てなことで、私も最初は透析がいやでいやでどうしようもなかったけれど、今ではさほど感じません。むしろ、4時間たっぷり寝るので楽しみです。人間あきらめが肝心なので、私もこの4時間は、もうあきらめ、寝る事に集中しています。寝過ぎて『ブタ』になるかもネネネ……。 おわり

釧路の短い夏も盛りのこの頃です。林田クリニックの患者会も色々な行事に参加する話が、あちらこちらで聞えてきます。家族でキャンプ、友人と魚釣り、夏のバーゲンは、どこそこが安い、おいしい料理店を見つけたので食べに行く相談など相変わらずの話題にもハズミが付きまします。

6月～7月に3人の透析仲間が相ついで離れて行きました。夜間透析の近藤氏（彼は『たんちょう』の編集委員や10周年記念誌の編集委員を担当してくれておりました）。Aグループの東山さん（腎友会の行事には御主人同伴でいつも出席して下さり、御主人のカラオケでの喉自慢は抜群！）。山田さん（山菜の情報や季節の色々な情報を会員に提供する事情通のオクさん）。お三人共札幌の地で透析を続けられております。

元気で頑張って、時々釧路にも顔を見せに来て欲しいものです。

さて、7月27日（日）は釧路腎友会恒例の登山があります。この便りが皆さんの目にふれる頃は登山の思い出で透析室に話の花が咲く事と思います。

まもなく『釧路港まつり』など各地で短い夏を盛大に楽しむ行事が開かれます。

大いに楽しみ、多くの思い出を作りましょう。明日も何かいい事があると思える様に。



※ クロスワード・パズル ※

6月号のパズルいかがでしたか？

正解は『ムシバヨボウ』です。正解者14名(全応募者)中、次の方々が当選しました。

当選者……

鋼路市立病院の田中トシ子さん、林田クリニックの林喜久雄さん、山沢道子さん、東山初枝さん、木口八重子さん、伊達千代子さん、大熊佳子さん、大野淳一さん、協立病院の宇井美江さん、菊池はつえさん、以上10名の皆さん、おめでとう御座居ます。記念品を贈呈致します。

会員の皆さん、林田クリニック以外の病院の応募が少ないようです。どんどんど応募下さい。待ってマス！

今月号の問題、例によって該当する言葉を埋めて下さい。二重枠の文字で正解が……

正解者10名に記念品贈呈。正解・当選発表は10月号にて、締切は8月31日。

解答宛先…鋼路市新富町一番七号・林田クリニック内・鋼腎会事務局編集部。下記に記入の上、郵送又は各病院幹事さん経由で。

……………切…取…線……………



8月号『たんちょう』パズル

答

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

病院名

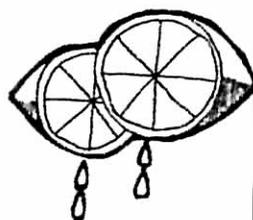
氏名

★タテのカギ

- ①白くて涼しそうな花は〇〇〇〇〇〇(仙人の食べ物+草)
- ②『〇〇〇〇〇〇がミイラになった!』(ことわざです!)
- ③『お兄ちゃんのくせに小さい子を〇〇〇んじゃありません!』
- ④『ズルイヤァ!その手〇〇〇〇!』(Don't Be THAT WAY)
- ⑤『まあ、ご丁寧に!、それでは〇〇〇〇〇〇頂戴致します!』(お中元のシーズンですね)
- ⑥『東京タワーはテレビ〇〇です!』

★ヨコのカギ

- ①『ゴロゴロピカーッ夏の風物〇〇〇〇さま!』(ヘソを取られるな!)
- ②『もっと右、いや左、そこだ打ちおろせ!』楽しい〇〇〇〇〇!後はみんな食べてましょ
- ③『バック〇〇〇に写った白い人影は何だったのでしょうか。もしやあれは……』
- ④『海から帰ったおみやげは、家中〇〇〇〇いっぱい!』(ジャリジャリします、お掃除大変!)
- ⑤『〇〇から帰ったらタダイマでしょう。パパに似てものぐさなんだから!』(ママは小言屋さん)
- ⑥『出来た!これで10問〇〇〇ぞ!あと2問頑張れ!』
- ⑦『〇〇の木にナスはならない』(ことわざです)
- ⑧『左翼と〇〇〇のぶつかりあい!』(機動隊出動で三つ巴!)



道東の市町村にあり、『かくれた名物』となっている品々を会員の方のご協力で紹介するコーナーです。『私はこれが！』とお思いの方は、お気軽にご連絡下さい……。

NO3 『白糠のスガタ製パンのクリームパン』

大量生産で機械によって作られたパンが主流を占めている昨今ですが、白糠の町に小さいけれど材料を選び、良心的にパン作りをしている『スガタ製パン』さんがいます。

こちらの『クリームパン』は中身のクリームがタップリ！、手に持つとずっしりと重みを感じる程です。会員のKさんが取材用に購入して持って来てくれた実物でそのクリームの量と焼き立てのパンの香りに『小さな町のパン屋さん』の良心と誠意を感じました。1個¥80、皆さんも白糠に寄られる機会がありましたなら、国道から茶路方向へ入る陸橋の下、お風呂屋さんの隣の『スガタ製パン』の『クリームパン』、お賞味下さい……。



①	②	③		⑤
⑥			④	
⑦		⑧		
⑨		⑩		
⑪		⑫		

「たんちょう」
 編集部からの
 お願い………
 会員のみねさん
 ご家族のみねさん
 の
 「原稿募集」
 いたしております。
 各病院の
 編集委員・幹事
 さん
 至由で
 編集部あて。
 お送り下さい。





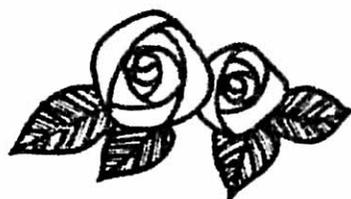
故・横野正裕さんの
御冥福をお祈りします

札幌の北クリニックで透析を受けておられていた横野正裕さんは、体調を悪くして入院治療中でありましたが、医師や御家族の手厚い看護の甲斐もなく、7月8日、御逝去されました。

故・横野さんは昭和53年より釧路市立病院で透析を受けられ、55年には林田クリニックに転院し、釧路地方腎友会の副会長という重責を引受られ、腎友会5周年の時には率先してこの記念行事を成功に導き、また、会活動では釧腎会発展の原動力として活躍され、多くの会員から厚い信頼を受けておりました。

58年には会社の都合により、札幌に転勤となり、家族と共に赴任されてきて、透析・勤務と励んでおりましたが、この度の若くして突然の御逝去は御家族はもとより、腎友会会員からも深く惜しまれるところであります。

ここに謹んで御冥福をお祈り申し上げます。



厚岸の会員『倉野利夫』

さんが御逝去される

昭和58年から厚岸町立病院で透析を受けておりました倉野利夫さん（70才）が、御家族並びに先生方の見守るなか、手厚い看護の甲斐もなく6月23日に御逝去されました。

温厚な倉野さんの突然の御逝去は、御家族はじめ、地元、厚岸腎友会はもとより、釧腎会の会員から深く惜しまれているところであります。

ここに皆さんと共に謹んで故人の御冥福を御祈り申し上げます。

なお、故・倉野さんの御遺族であります倉野庸子さんより『生前、腎友会に大変お世話になりました』という事で、『釧腎会の運営費』と、今年度の『満10周年行事』に使用して頂きたいという事で、二口の御寄付を頂きました事を報告し、深く御礼を申し上げる次第であります。

会員の動向

◎新患者

・杉山益雄

白糠郡

・石橋清春・根室市立・61年7月14日より村田クリへ

・倉野利夫・厚岸町立・61年6月23日 死亡

・田口邦雄

釧路市

◎新会員

・工藤信博・林田クリ・61年4月より

・岩見桂一・日赤病院・61年6月より

・上田 守

釧路市

・小野光子・市立病院・61年7月より

・杉山益雄・市立病院・61年7月より

・工藤信博

釧路市

・鈴木安男・協立病院・61年8月より

・田村勝代・日赤病院・61年8月より

・児玉 等・日赤病院・61年8月より

・田村勝代

根室市

◎脱会者

・小林米子・市立病院・61年4月より

・井藤隆光・林田クリ・61年4月より

・鈴木安男

釧路市

・児玉 等

厚岸郡厚岸町

・波佐政男

浦幌町

◎変更事項

・佐藤栄子・日赤病院・住所…野付郡別海町
別海寿町 ・電話…

・山谷 繁・市立病院・61年6月1日より札幌へ

・青地研自・市立病院・61年6月1日より神奈川へ

